

例会報告

Rotary

高山西ロータリークラブ



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ
3 月 諏訪高島城① 新井 典仁

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁

<会長の時間>

平昌オリンピック日本選手団の活躍で大いに盛り上がりました。私はスピードスケートの小平奈緒選手に注目していました。小平奈緒選手が 500 メートルで金を取り



日本中がお祝いムードになりました。TV で放映されたのですが自身が滑ってオリンピック新記録であったことがアナウンスされると会場内に歓声が響き会場は騒然となりました。この時小平選手が人差し指を口にあてて静かにしてね、と会場に向かってサインを出しました。次の組の走者が韓国のイ・サンファ選手でした、オリンピック 2 連覇している選手で「氷上の女帝」と呼ばれ韓国国民の期待を一身に背負っていた選手です。この選手のことを思い、この行動に出たと思います。結果は小平選手が金でイ・サンファ選手が銀となりました。小平選手のこのイ・サンファ選手に対する行為はフェアプレイあるいはフェアな態度と称賛されました。

今日はこの FAIR についてお話ししたいと思います。

ロータリーの 4 つのテストの 2 番目に「みんなに公平かどうか」があります。原文は FAIR です。ご承知のように、これの日本語訳が「公平」と「公正」どちらがいいか若干の争いがあります。

「公平」と「公正」との違いですが、例えば考えると公平は、従業員さんに同一の労働の場合全員に 700 円支払うとこれは公平になると思いますが、ところが 700 円と言う金額が妥当であるかが問題になると必ずしも 700 円は公正ではないと思います。「公平」は複数人の扱いが同一であり、「公正」は 700 円が安いのか、高いのか、適正かと言う価値判断を伴うものとなります。私の個人的な考えではありますが、FAIR と言う言葉はやはり公正と解釈すべき、と思います。

RI 理事会が、1943 年 1 月に四つのテストを職業奉仕プログラムの一つの構成要素とてから 75 年が経とうとしています。その意味はロータリーの中でじっくりと時間をかけて検討されてきたと思います。今後自分の心の中でその意味を深めていく必要があると思います。

<幹事報告>

◎RI 日本事務局より

- ・3 月のロータリーレートについて
1 ドル 108 円 (現行 110 円)



◎ガバナー・ガバナーエレクトより

・国際ロータリー第 2630 地区 2018 年地区研修・協議会開催のご通知

- 日時 4 月 14 日(土) 点鐘 13:00 終了 17:00
- 会場 長良川国際会議場、岐阜都ホテル
- 出席義務者 会長、次期幹事、次期会計、次期ローター

情報委員長、次期職業奉仕委員長、次期雑誌広報委員長、次期会員増強委員長、次期社会奉仕委員長、次期環境保全委員長、次期国際奉仕委員長、次期青少年奉仕委員長、次期インターアクト委員長、次期ローター財団委員長、次期米山奨学委員長、(H28.1.1 以降入会の方) 新会員

◎はぐるま会会長より

・第 188 回はぐるま会開催のご案内

- 日時 4 月 8 日(日) 13:04 スタート
- 場所 飛騨高山カントリークラブ
- 会費 3,000 円
- 締切 3 月 30 日(金)

◎第 2670 地区ガバナー、第 2680 地区ガバナーより

・2018 JAPAN RYLA (青少年指導者セミナー)のご案内

- 日時 5 月 24 日(木) 15:00~27 日(日) 12:00
- 会場 神戸 YMCA 余島野外活動センター

※全日程参加可能な 20 歳以上の有望な人材を推薦下さい

◎光記念館より

・特別展のご案内および招待券・優待券

「北斎と葛飾派」 期日 2 月 27 日(火)~6 月 11 日(月)

<例会変更>

- 高山 … 3 月 8 日(木) は、夜例会のため
18:30~ 飛騨イタリアンアルティジャーノ匠館 3F に変更
- 高山中央 … 4 月 2 日(月) は、定款により 休会
4 月 23 日(月) は、軽スポーツ例会のため
プレイビーへ 変更
4 月 30 日(月) は、法定休日により 休会

<受贈誌>

オクトン (カタログ No.38)、岐阜県環境生活部人権施策推進課長 (人権だより No.72)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	31 名	3 名	34 名	40 名	85.00%
本日	35 名	—	35 名	40 名	87.50%

ロータリー：変化をもたらす

例会報告

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日

なし

◎夫人誕生日(ご自宅へ花をお届け)

松川 英明

さをりさん 3. 24

◎結婚記念日(写真左より)

住田 泰典 3. 2

黒木 正人 3. 20

阪下 六代 3. 9 (休会中)

◎出席表彰(写真左より)

塚本 直人 6年

大村 貴之 6年

堺 和信 4年

榎坂 純一 2年

◎在籍周年記念表彰

(当日欠席)

挾土 貞吉 35年

折茂 謙一 20年

◎3ヶ月表彰

・榎坂 純一 ・大村 貴之 ・萱垣 敬慈 ・堺 和信

・塚本 直人 ・松川 英明



受入学生月例報告

Schenk Noemi Beatrice

二月にたくさん旅行をしました。さいしょは美濃加茂の留学生のホストファミリーとしてがこうげんで三ヶ間スキーを滑りました。パウダースノーはすごくきれいでした。スキー場ではスイスの人に会いました。おもしろかったのですが、その人はスイスのフランス語を話すくらいから来ました。だから一緒に英語を喋りました。私はフランス語をすっかり忘れました。やばいですよね。今は、日本語だけ喋れます。でもそのスキー旅行はとても楽しかったです。ありがとうございます。



次は田近ホストファミリーと富士山に行きました。富士山の近くのホテルに泊まりました。土曜日に遅く着きましたが、きれいな花火を見ました。日曜日に富士山を見ました。すごくはれたのでみはらは本当にきれいでした。にんじゃむらにも行きました。おもしろかったです。月曜日には、田近家族のともだちと会いました(とてもしんせつ家族です)。富士山の旅行につれて行ってもらって嬉しかったです。

二週間前にお兄さんが日本に来ました。さいしょはホストお祖母さんと高山から東京までバスに乗りました。東京ではお兄さんと会いました。嬉しかったです。八日間いろいろなところに行きました。しずやとか原宿とか新宿とかあきはばらとかおだいばとかです。毎日とても楽しんでしました。今は沖縄の旅行をとても楽しみにしています。いつもどうもありがとうございます。

聞いていただいて、ありがとうございます。

(漢字表記含め原文ママ)

青少年奉仕委員会

義務教育9カ年皆出席表彰

委員長 長瀬 達三

本日の例会は、青少年育成委員会担当例会です。継続28年となりました『義務教育9カ年皆出席表彰』を



行います。合併前は例会場に該当生徒さんをお招きして、会長から表彰状を直接授与していましたが、合併後からはそれぞれの学校の修了式等の場で、校長先生からお渡しいただいています。

今年は高山市全12中学校中8校・43名の生徒さんが皆出席を達成されました。ここでお名前を読み上げます。

清見 2名 … 清水口 飛翔、菅原 楓

久々野 1名 … 松森 美聖

国府 1名 … 船坂 美早紀

中山 11名 … 千賀 涼平、大野 真彩、井端 陸、橋場 海星、小瀬 媛香、大下 未弥、東 吉行、稲垣 美来、鍵谷 つばさ、森林 さつき、田高 昇英

丹生川 7名 … 今井 玲那、木岡 諭美、寺林 穂ノ果、中嶋 晴香、坂本 聖太、田上 紘大、菅野 瑠菜

日枝 6名 … 川原 幸起、藤田 琉生、小鳥 菜実、下屋 澄音、徳川 真由紀、新名 正弥

東山 5名 … 牧野 翔馬、尾崎 綾人、片岡 由芽夏、山下 香乃、他 1名

松倉 10名 … 下方 春果、中澤 萌、小原 麻夢、石原 温人、小糸 健右、三塚 拓真、浅井 夢乃、石原 侑佳、垣内 紬希、坂下 美桜

本日は代表生徒さん分のみ校長会の中学代表、荘川中の岡本校長先生に代理授与させていただきます。なお、43名の生徒さんの賞状および副賞につきましては、会長・幹事、私の3名にて、本日この後2時より高山氏教育研究所にて行われます市校長会に出向きまして、お渡しして参ります。



では本日ご講話いただきます高山市小中学校長会 中学校長会長 荘川中学校長 岡本 昌昭先生をご紹介します。岡本先生は昭和58年大野郡白川村立白川中学校に教諭として赴任され、教諭として中学校4校、小学校2校にて勤務されました。後、国府小中兼務として主幹教諭、飛騨高山高校定時制・通信制、および久々野中にて教頭として勤められ、荘川中学校長として3年目でいらっしやいます。岡本先生、よろしくお願い致します。



保小中高のつながりと“ひとりだち”

高山市小中学校長会 中学校長会長 荘川中学校長 岡本 昌昭先生

まず、最初に、これまで長きにわたり義務教育9ヶ年の皆勤表彰をしていただき、今年度で28回目ということ。高山市小中学校長会を代表しまして、厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

画面は、荘川中野地区から、御母衣ダム建設に関わって移植された『奇跡の生命力をもつ“荘川桜”』の写真です。それでは、これまでの教員生活30数年間の中から、保小中高のつながりと“ひとりだち”ということについて話をさせていただきます。

人は、『夢や希望、願い』をもち、その実現に向けて努力しているとき、生き生きしているものです。たいへんなことでも、へこた

例会報告

れず頑張ろうとしたり、やりがいを感じたりして取り組むものです。また、自分が高まることや、仲間と共に成長を喜び合えることが、自分の『夢や希望、願い』を膨らます大きなエネルギーにもなります。『夢や希望、願い』とは、「将来、こんな人になりたい」や「こんな生き方をしたい」、「こんな仕事に就きたい」などです。これらを具体的に言うと、「思いやりのある人になりたい」、「責任を果たせる人になりたい」、「人の役に立つ人になりたい」、「生徒一人ひとりのことを親身に考えられる教師になりたい」、「どんな人も格好良く可愛くできる美容師になりたい」などです。

しかし、すぐに、そういったものを描くことは難しいことです。よって、自分自身の良さや弱さに目を向け、良さを伸ばしていくことや弱さを克服していくことを大事に指導支援してきています。これらを『夢』、その実現のために具体的にどう行動していくのかを考え、『挑戦』し、やり抜き・認め合い、喜びから『感動』につなげていきます。そして、できるようになった事実を“ひとりだち”ととらえます。

それでは、自分の良さや弱さに目を向け、将来の『なりたい自分』を描くための素地は、これまでの小中の勤務に加え、高校（定時制と通信制）勤務、そして、現在の荘川中で保小中一貫教育を進めてきている中で、幼少期からの発達段階的な育みが大事だと感じるようになりました。特に、飛騨高山高校の定時制と通信制に勤務していた時、感じました。

①親になってから ⇒ 公園でよちよち歩きの我が子 ⇒

すぐに助ける or じっくり見守る

②我が家の妻は、じっくりと ⇒ 気長に接し、話を笑顔でうなずきながら一緒に遊ぶ ⇒ 自分も遊ぶが、本読みカードの評価など

③我が家の子どもの頭をなでてあげると ⇒ 小学校の低学年の頃、「うれしい」と。

※甘やかすのではなく、甘えさせることが大事、スキンシップなども含めて。

小・中学校勤務から

①甘えさせられていない子、甘やかされてきた子がいるように感じられる子 ⇒ 例えば小学校低学年：席に座ってられない、歩き回る、奇声をあげる、泣き叫ぶなど。中学校：時々キレて暴れだす子（家庭で小さい頃、甘えさせられていない・夫婦仲、親がイライラ感を出しきつい言葉・暴力、親の路線に乗せる、期待が大きすぎ、あまり我が子を褒めない ⇒ このつけをはらうかのよう ⇒ 高価なもの、旅行他）

②落ち着きのない学級 ⇒ うまくいかない学級、担任も必死に頑張る、支援に入る同僚 ⇒ 翌年、担任が変わると、少しずつ良くなっていく（昨年の指導が少しずつ、子どもたちも考え成長してきていることもある・・・）

③不登校傾向、退学傾向の児童生徒に対して ⇒ 小中では、勉強ができるように・集団に入れるように・本人や保護者に関わり続ける（家庭訪問、外部機関との連携⇒決してあきらめず、手を離さない）これらの小中の指導支援は、時として、本人や保護者はうとうとしと感じる・逆に保護者は、学校側は心配し関わり続けることが当たり前で、不十分だと怒る。

高校（定時制・通信制）の教育では ⇒ 小中の教育があってこそ

①学ぼうとする気持ち ⇒ 登校してからが勝負！社会に出てからのことを考え

②新しい自分づくり ⇒ 決して手を離さない小中の指導支援があって、その後、じっくり考える時間・エネルギーをためる時間を経て ⇒ やり直そう、自分を変えよう、学びなおそう

③自己決定と自己責任 ⇒ 本人がじっくり考え自己決定 ⇒ 親が言うからでなく、先生がおいでではなく ⇒ 誰のせいにもできない ⇒ 自己決定と自己責任の経験 ⇒ 社会に出るための“ひとりだち”です。

※全日制を中退してきた生徒が定時制を見学 ⇒ 中学校時代不

登校 ⇒ 人と関わることが苦手 ⇒ 本人は「どうしてもやり直しがしたい」という気持ちはなし ⇒ 「そういう気持ちになるまで待ちましょう」その後、じっくり考え1年後、自己決定し自己責任のもとで入学。通信制で休学をしつつエネルギーがたまるまで待つ ⇒ 10年かけて卒業

まとめると・・・幼少期に甘やかすだけでなく甘えさせる ⇒ 小中学校での心に寄り添う決して手を離さない指導支援 ⇒ 自己決定と自己責任：厳しい世界で生きていく力=社会に出て必要な力の一つ

それでは、現任校の取組を少し急いでご紹介したいと思います。

7年前に、荘川保小中連携教育がスタートし、現在は、保小中一貫教育へ。そこでは、12年間の育みの中で、生活面や学習面において、少人数の良さを生かした指導支援として、一人ひとりが輝くこと、社会に出て主体的に行動し、貢献できる子の育成を目指した教育の構想が始まりました。そこでの出口の姿こそ、“ひとりだち”あります。

4年前から、2.5km離れている小中学校間を行き来して専門の教員が授業を行うといった兼務の授業を始めました。

中学校から小学校へ5名、小学校から中学校へ2名。7名の職員が1週間で合計28時間の兼務の授業を行っています。兼務による授業について、子どもからアンケートをとったところ、毎年、高学年の全児童が、卒業後、中学校でも安心して生活ができそうだと感じています。これは、小学校から中学校に進学したとき、学習内容や環境の変化から学校生活に適応できなくなるなど、いわゆる「中1ギャップ」の軽減に大きく貢献しています。小中を指導している教員は、兄弟関係をも踏まえた児童生徒理解の下で授業を行なうことができます。発達段階に応じた途切れのない指導を行なうことができるなど、義務教育9年間を見通した指導ができると感じています。

さらに、3年前からは中学校籍のALTを保育園に派遣し、保育士と年中・年長を対象に、英語で遊ぼうとする時間を位置づけています。公立保育園で英語活動を行っているところは、全国的にも珍しいと思います。これによって、幼児期から本物の英語に触れられ、小中学校の英語教育へつながっていきます。昨年の秋に、保育園の遠足で高山陣屋に行った時、多くの外国人観光客に、「My name is・・・」「I live in Machiya (町屋)」「I like apple」などと笑顔で話しかけていました。コミュニケーションの楽しさを体験する重要な取組と言えます。

また、保小中12年間で「郷土教育」も大切にしています。昨年度から、小中の児童生徒が絵うちわを作り地域の方々等にプレゼントしています。今年度から保育園児も絵うちわの制作に加わりました。秋の運動会では、自分たちで作った獅子頭を使って獅子舞を披露しています。このように荘川の子どもたちは、幼少期から地域の伝統に慣れ親しんでいます。小学校6年生は荘川の偉人、上木甚兵衛さんと三島勘左衛門さんの物語を学習し、東京都新島の小学生と交流を続けています。21回目を向かえた今年度の交流では、「荘川の獅子舞いを新島小学校の皆さんや甚兵衛さんと勘左衛門さんに届けたい！」という強い思いから、現地のお寺の境内で、獅子舞いを披露しました。中学生は民謡保存会の方々に「笠踊り」を教えていただき、毎年、行われている「ふるさと祭り」においてその成果を披露しています。この活動は10年以上の長きにわたり続いており、子どもたちの郷土愛を育てている活動といえます。生徒は、「大好きな荘川の伝統芸能をもっとほかの地域の人に知ってもらい、たくさんの人に荘川に来てもらいたい。」という思いで取り組んでいます。また、今年度は3年に一度のひねり踊りの年でした。中学生は獅子舞やお囃子の役割を担当し参加しました。地域の方々と共に堂々とふるまい、伝統芸能の担い手として頼りにされています。

これら、すべての教育活動の中で、夢（なりたい自分を描く、自

ロータリー：変化をもたらす

例会報告

分の良さや弱さ)をもち、その実現に向けて挑戦し、やり抜き・認め合い、感動を味わい⇒“ひとりだち”をさせていくといったサイクルを積み重ねていっています。

最後に、一人ひとりの“ひとりだち”への支援として大事なことは『なりたい自分』の中身です。抽象的なものでなく、より具体的なものでなければ今、『なりたい自分』に向けて、どこまできているのかといった位置づけと価値づけ次に、どうしていくとよいかといったアドバイスの方向づけ、あまり手を出しすぎない、口を出しすぎない、見守る、何もしない指導が肝要です。

この写真は小中合同運動会の会場で、児童生徒、保護者や地域の方々全員で荘川伝統の「えっさえさ」を踊った後、ドローンで撮影したものです。

ご清聴、ありがとうございました。



<ニコニコボックス>

●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

高山市小中学校長会 中学校長会長 荘川中学校長 岡本 昌昭先生ようこそいらっしゃいました。本日はご講話よろしくお願ひします。なお、先週日曜日ソフトミニバレー大会に参加の会員の皆様、お疲れ様でした。成績は後ほど発表下さい。

●伊藤 松寿さん、斎藤 章さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、

向井 公規さん、下屋 勝比古さん、長瀬 達三さん、黒木 正人さん
高山市小中学校長会 中学校長会長 荘川中学校長 岡本 昌昭先生のご来訪を歓迎いたします。ようこそお越し下さいました。今年度の義務教育9カ年皆出席の表彰は43名です。生徒さんへの表彰伝達、どうぞよろしくお願ひ致します。

●田中 正躬さん

3月に入って益々春らしくなってきました。昨日の高校卒業式を皮切りにいよいよ卒業式シーズンです。私の孫も今年小学校を卒業します。通学用の自転車を用意しなければと思います。今日は荘川中学校長 岡本先生ようこそ、ありがとうございます。ノエミも進級かな?今日は都合で先生の話を聞けず早退します。

●田中 晶洋さん

先日24日の妻の誕生日に素敵な花束を頂きました。ありがとうございました

●杉山 和宏さん

先日は妻の誕生日祝いと結婚記念祝をいただきありがとうございました。まだランチを頂いておりませんので期限前には食べに行きたいと思ひます。

●田近 毅さん

ノエミちゃんが2月24日にお兄さんのルーカスと一緒に東京から戻り、お兄さんは27日まで高山に滞在し、28日に大阪に向かいました。ノエミちゃんは3月7日から24日まで沖縄・鹿児島旅行にお兄さんと一緒に出かける予定です。日本を満喫しています。来週から次のホスト菅垣さん宜しくお願いします。

●伊藤 松寿さん、向井 公規さん、山下 直哉さん、松川 英明さん

今日は3月のノエミ来訪例会です。今月は来日したお兄さんと一緒に沖縄・九州を旅するという事です。十分に日本の生活を楽しんで下さい。

第69回高山西ロータリークラブ杯争奪 高山市ソフトミニバレーボール大会

2月25日(日)恒例のソフトミニバレーボール大会が開催され、会長、幹事、会長エレクトが開会式で選手の皆さんを激励すると共に、今回もクラブより精鋭1チームが出場し、選手の皆さんと共に汗を流しました。



ロータリー：変化をもたらす